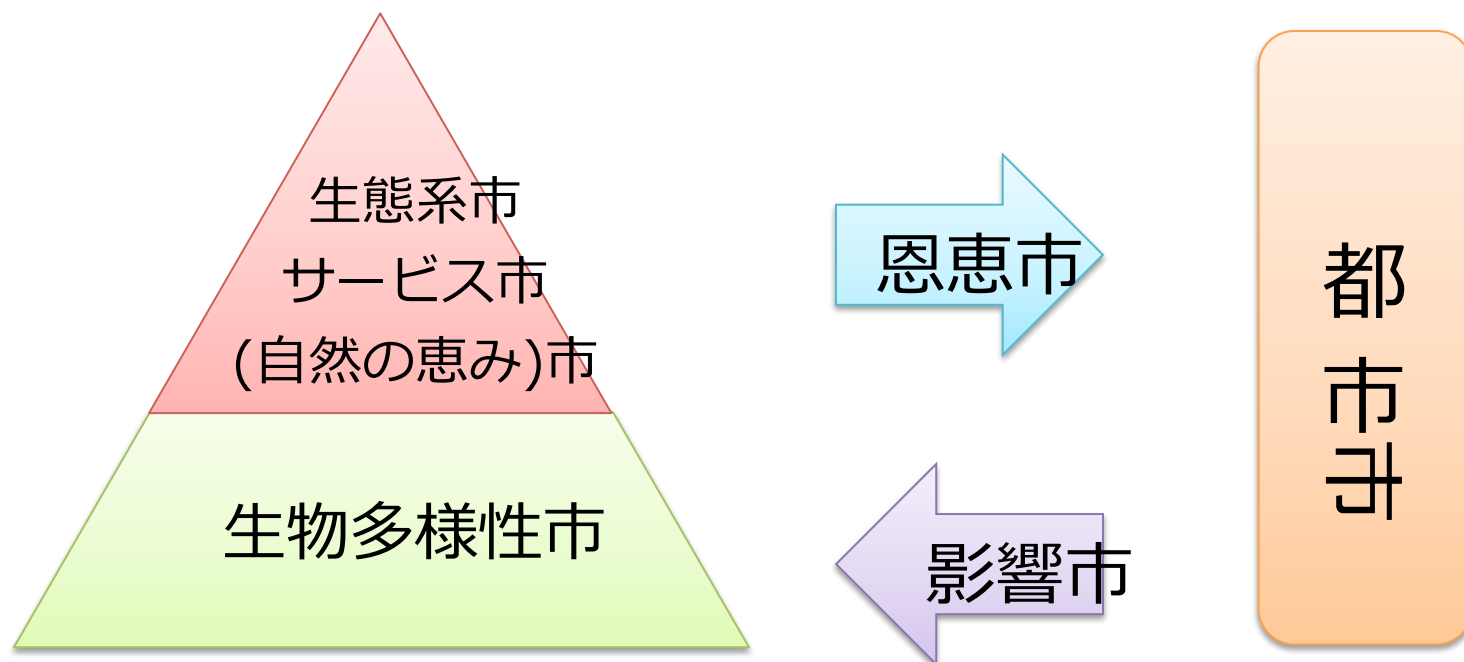




生物多様性や自然資本の劣化の根本原因は都市の社会経済活動市

都市が世界の生態系に与える負の影響を緩和し、生物多様性市の保全に努めなければ、都市の社会経済活動が持続しない市

土地利用や調達等の事業を通じた生物多様性保全市
都市の緑地を通じた普及啓発市

SDGs（国連持続可能な開発目標）について市 2市

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が市
定めた17の目標と169のターゲット市





目標11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

11.3 2030年までに、**包摂的かつ持続可能な都市化**を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。市

11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、**水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し**、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。市

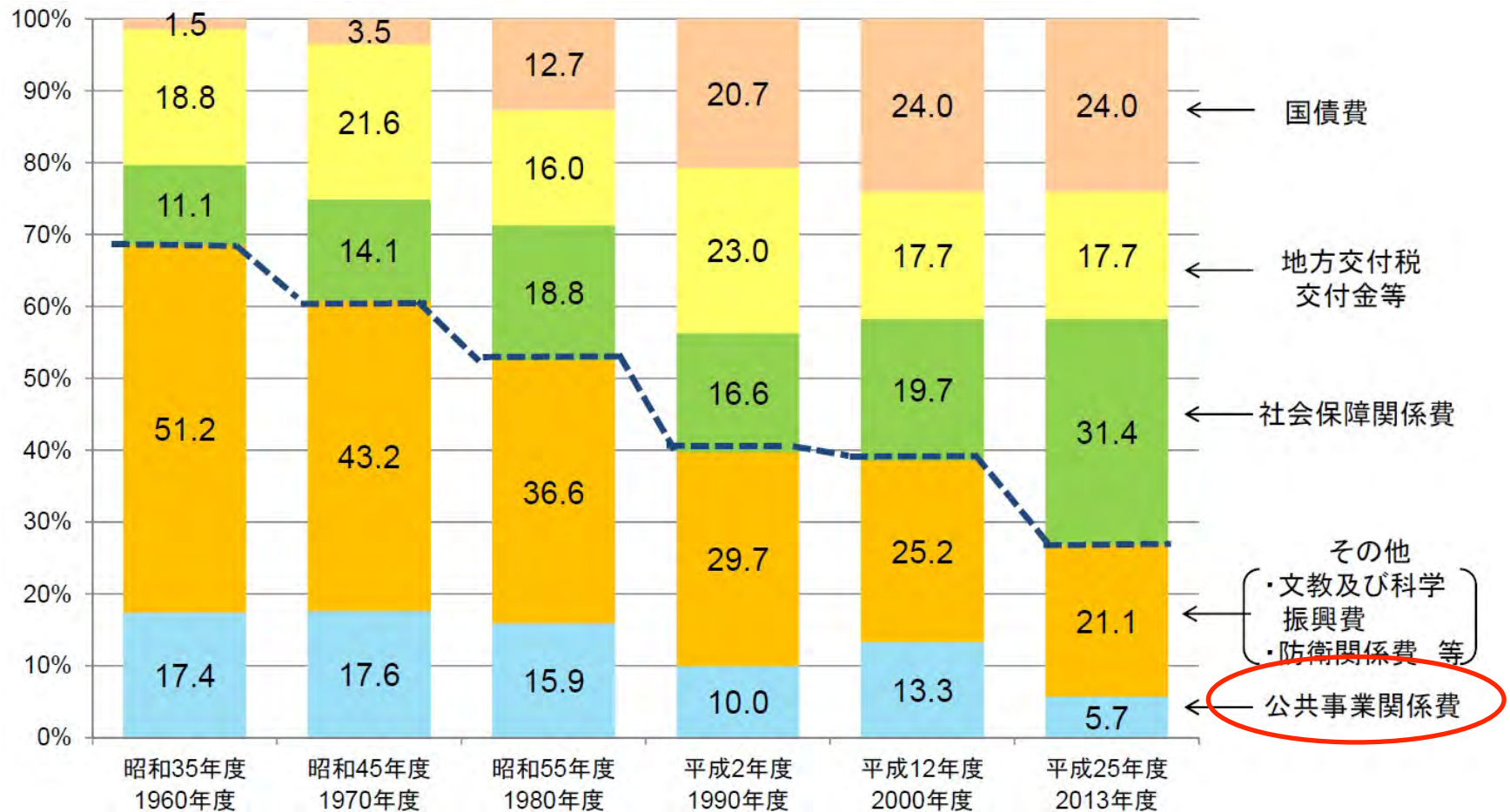
11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、**都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減**する。市

11.7 2030年までに、女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、**人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供**する。市

11.A 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、**経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながり**を支援する。市

11.B 2020年までに、**包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ**、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの**総合的な災害リスク管理**の策定と実施を行う。市

国の一般会計歳出項目別割合の推移市



自社の事業に関するリスクと機会

5市

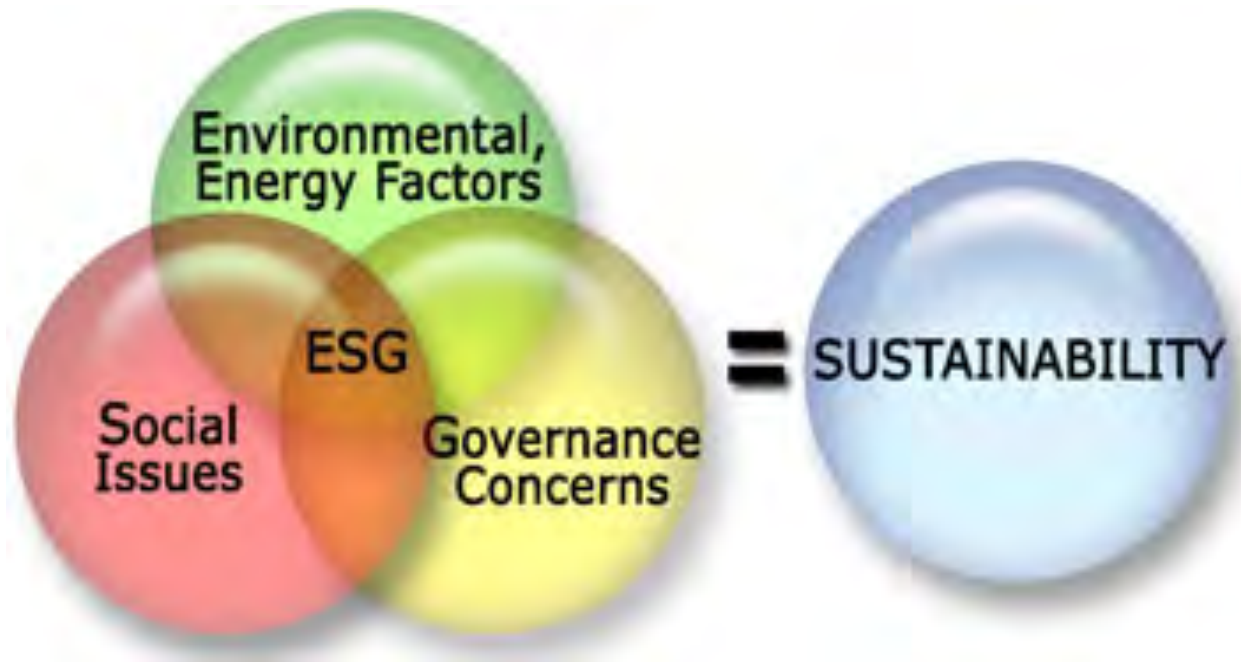
リスク	概要
評判リスク	- 商品のブランドイメージや企業イメージの悪化 - 取り組み企業との相対的な競争力の低下 - 環境団体からの抗議運動・キャンペーンの標的
規制・法的責任リスク	- 政府が講じる新たな規制、罰金、使用料の賦課 - 生態系サービスを失うこととなった地域社会が起こす訴訟 - 生物多様性に損害を与えた企業に対する修復責任の要求
事業継続リスク、 損益への影響	生物多様性の損失による生態系サービス（淡水や生物資源の調達等）が不安定化 （操業、業務プロセスへの影響、資源枯渇によるコストアップ等）
機会	概要
地域社会からの 高い評価・信頼の獲得	地域と一体での活動による交流の活性化、評価・信頼の向上（評判リスクの回避）
取引先からの 高い評価・信頼の獲得	生物多様性活動を条件としたグリーン調達、投資への対応（評判リスクの回避）
事業への影響の予防 （事業継続の確保）	自然資源の利用について最適化に努め、依存度を下げる （資源の枯渇、コストアップのリスクを回避）

- 物理的な限界市
 - ・ 気候変動(気候災害の被害額急上昇、農作物の調達…)市
 - ・ 生態系の劣化市
 - ・ 資源枯渇市
 - ・ 有限な地球（→その地球の生命維持システムが自然資本）市
- 資本主義の限界市
 - ・ コスト競争→コモディティ化、利潤の縮小市
 - ・ 格差の拡大(トマ・ピケティ)市
- 第4次産業革命市
 - ・ IoT、AI市
 - ・ 限界費用ゼロ社会（ジェレミー・リフキン）

ESG投資が急増し企業価値や不動産価値に影響市

7市

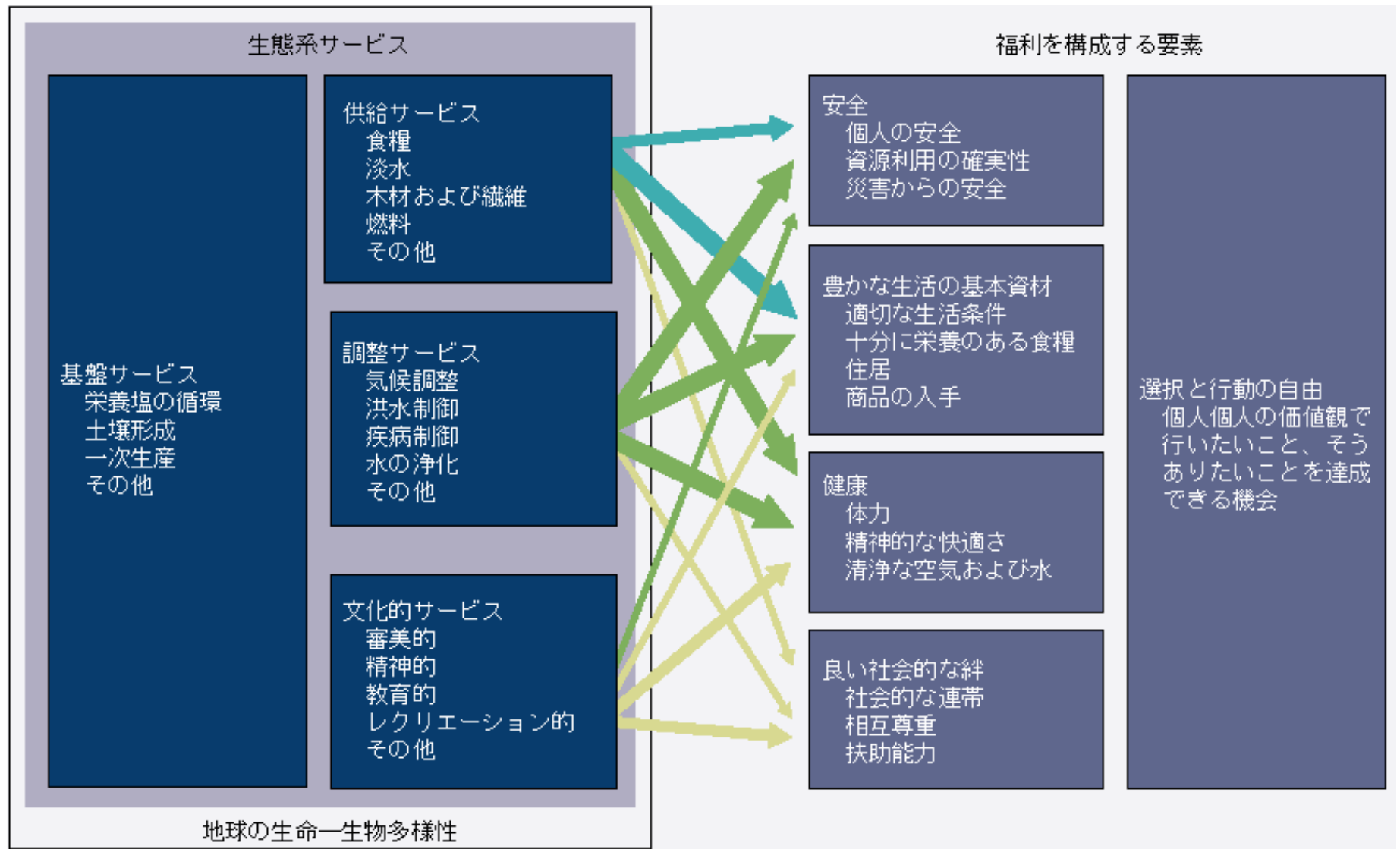
「E」「S」「G」が長期的な企業価値を高める



引用元:<https://www.sustainabilityhq.com/esg-matters/information-on-the-importance-of-esg-and-sustainability/>

- 全世界の資産運用残高のうち、ESGを考慮した投資の割合は約 3 割まで上昇し、特に欧州では約 6 割にまで拡大。市
- ESGへの投資残高も約21兆ドルに達している市
- ESGリスクの高い企業は、事業リスクも高い市
→事業リスクの高い企業には投資したくない 市

- 国連PRI(Principle on Responsible Investment)⇒GPIFも署名市
- 国際統合報告（IR）市
- EU非財務情報開示指令市
- 主要な証券取引所によるESG情報開示の義務化(SSEI) 市
- CDP等の評価の影響力市
- ダイベストメント運動市
- スチュワードシップ・コード市
- コーポレートガバナンス・コード



都市の緑地が提供する自然の恵み（生態系サービス）

10市

供給サービス

食糧生産市

- ・ 伝統野菜の市
- ・ 栽培市
- ・ 遺伝子の市
- ・ 多様性市

域外保全

屋上菜園市

樹林・草地市

土壌形成市

水の浄化市

物質循環市

地下水涵養市

基盤的サービス

調節サービス

熱環境緩和市

CO₂吸収市

延焼防止市

津波の減勢市

雨水流出抑制

液状化抑制市

大気浄化市

騒音緩和市

オープンスペース市

地域特有の景観創出

健康増進市

審美性市

自然体験の機会市

保健休養市

普及啓発・環境学習

文化的サービス

大阪ガス 泉北製造所市

地域とつながるみどりのネットワークづくり市

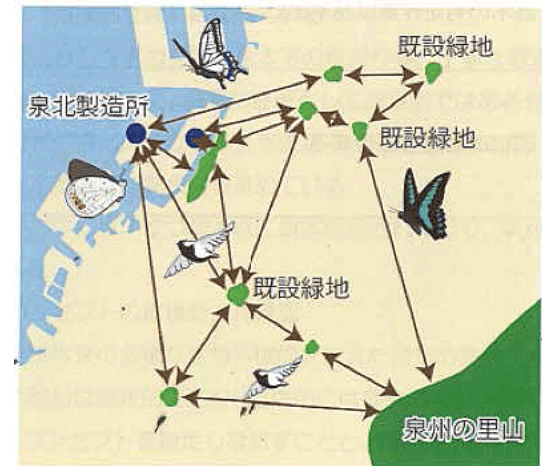
11市

製造所内の緑地をゾーニングし具体的な緑地管理計画のもと、周辺の里山・里地の植生再現を目指し、生きもののすみかとしての機能をもつ緑地づくりに取り組んでいる

泉北製造所の“みどり”のポイント市

- ・生きものたちのための“みどり”市
- ・地球のための“みどり”市
- ・“みどり”こそゼロエミ市

■ 地域の小学生と地域性種苗の植込み



■ シバ型草地からチガヤ型へ



平成 14 年度
(シバ草地、4 回/年の草刈り)



平成 20 年度
(チガヤ草地、2 回/年の草刈り)



平成 24 年度
(チガヤ草地、2 回/年の草刈り)

■都市ガス製造所の緑地を希少植物の避難場所に市

なぜ、都市ガス製造所で希少植物保全？市

- ・ 竣工から30年以上が経ち、それなりの規模の森がある市
- ・ シカ、イノシシなどの動物による食害がない市
- ・ ハイカーによる持ち去りがない市



工場従業員による希少種の移植市



オチフジ市



ハマアザミ市

大阪ガス 姫路製造所市 希少種のレフュージア利用を推進市

13市

- ・ 2004年からレッドデータブック指定の希少植物36種（西播磨でのみ見られるオチフジ等）を緑地に導入
- ・ 2009年の調査で、80%の高い定着率を確認
10種217株を追加導入
- ・ レフュージアとして専門家から高い評価
兵庫県立「人と自然の博物館」との協働
- ・ 2010年に、絶滅危惧種のカミガミソウ、ハマアザミ等 の海浜性植物を導入



オチフジ市



■ビオトープの整備

生物の生育・生息基盤となるよう整備市



江戸期から続くクロマツ防潮林で、新たに生物多様性視点での保全活動を開始（2011～）

市

- ・ゾーニング管理の導入市
- ・森林の間伐／間伐材の再利用（対象：クロマツ保全エリア）市
- ・社員による手作りの遊歩道市
- ・植生調査／鳥類調査（20種以上市の生息を確認）／昆虫調査市
- ・松枯れ対策の為の薬剤散布量の削減市
- ・クロマツの森における啓発、市環境コミュニケーション市
全社員に開放（癒し、健康づくり）市
小学生の環境教育への活用を検討中市



鹿島工場の在籍社員が自分の木を選んで植樹（1980～）

- ・ 植樹年/氏名/木の名前を書いた市手作りプレートを設置市
- ・ 1980年に50人分の植樹から開始、市以後35年間で計800人分を植樹市

【生物多様性に富み階層構造を有する昔ながらの森の再現】

- ・ 砂丘の地にもともと生育していた市タブノキやモチノキなどを植樹市
- ・ 現在、143 種の樹木から構成市

【専門家による生態系調査の実施】

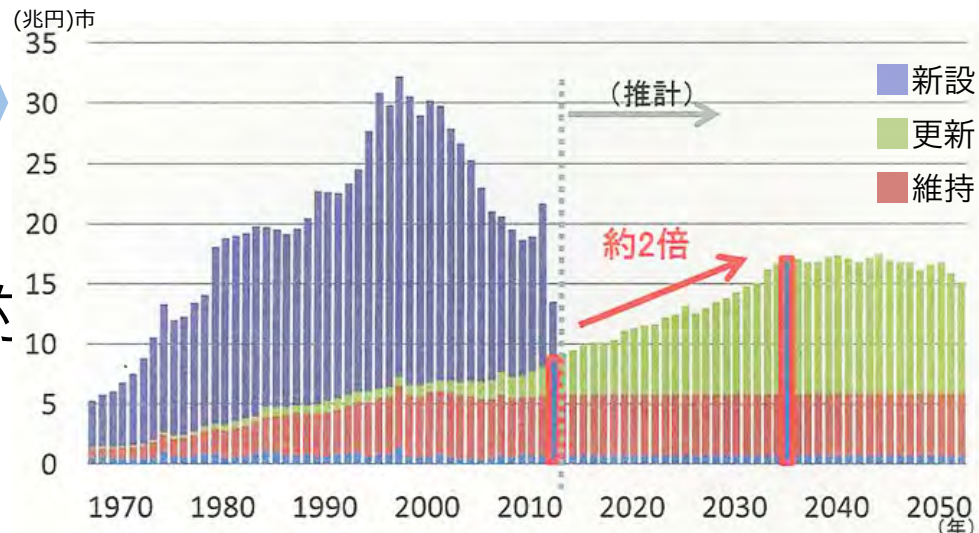
- ・ メジロ、モズ、キジ等の野鳥や市アオスジアゲハ、ゴマダラチョウ市等の昆虫が多数集まる森となって市いることを確認市



自然の持つ多機能性やしなやかな回復能力などの特性を賢く活用する**インフラ整備・国土管理の手法**及び**土地利用計画**（GI研究会）

- 欧州、米国では、環境のみならず、防災・減災や地域づくりの中でGIを積極的に用いて、社会の新たな価値形成を実現する動きが始動
- 国内においても、気候変動等を始めとした災害リスクの高まり、人口減少、地域経済の停滞、自然環境の劣化等、多様な課題が顕在化
- GIはこれらの社会課題を丸ごと解決する手段として期待されている
- GIは環境・社会・経済を両立させ、環境の持つ便益を目的化して

【背景】 人口減少、財政難
新自由主義、法人税減税市



グリーンインフラの特徴市
● しなやか、多機能・統合的

- 持続的、長持ち
- ゆらぎ、不確実性
- 自律的な回復力
- 既存の解決策より整備費や維持管理コストが下がる場合も

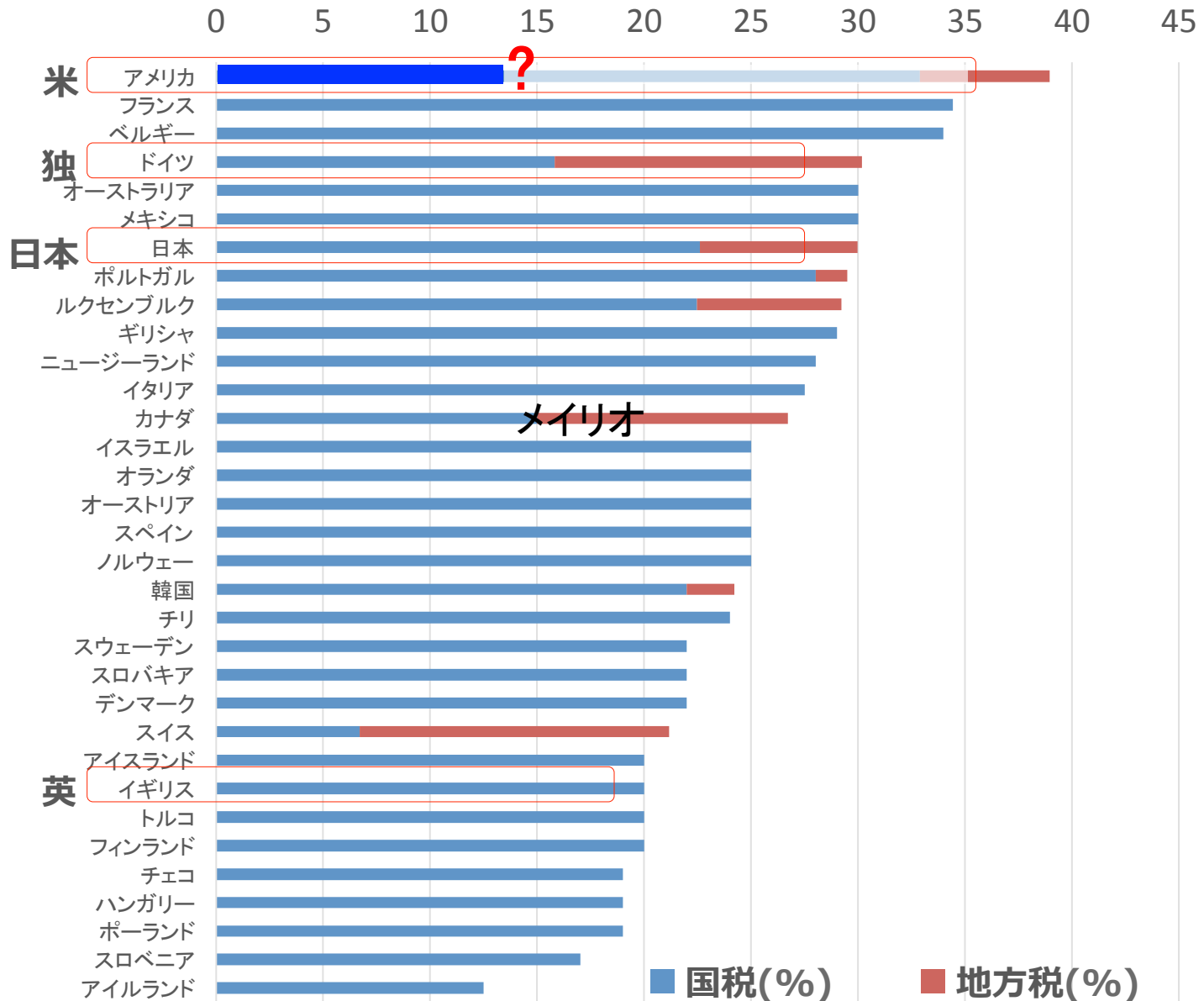
グレーインフラの特徴市

- 想定(設計)条件下で目的機能の高発揮 (単機能)
- 規格化が可能
- 品質管理が容易
- 技術が確立済み
- 寿命がある

GIは平時も常に機能発揮する、多面的に。
グレーインフラは非常時のみ機能発揮

主要国の法人税率

18市



都市緑地法等の一部を改正する法律が施行

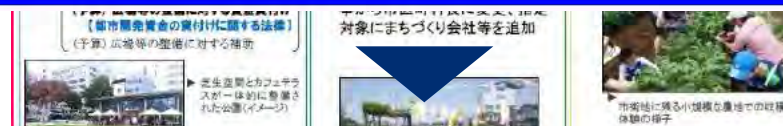
19市

●都市緑地法等の一部を改正する法律案

<予算関連法律案>

背景・必要性

- ◆まちづくりに当たって、公園、広場、緑地、農地等のオープンスペースは多面的な機能を発揮
 - ー 景観(潤い)、環境(雨水貯留、生物多様性)、防災(延焼防止、避難)、体験・学習・交流、にぎわい
- ◆緑豊かなまちづくりに向けては、以下のような課題が顕在化
 - ✓ 量的課題
 - ー 一人当たり公園面積が少ない地域が存在
 - ー これまで宅地化を前提としてきた都市農地は、減少傾向
 - ✓ 質的課題
 - ー 公園ストックの老朽化の進行・魅力の低下、公園空間の有効活用の要請等
- ⇒ 一方、使い道が失われた空き地が増加
- ◆地方公共団体は、財政面、人材面の制約等から新規整備や適切な施設更新等に限界
- …「経済財政運営と改革の基本方針2016」,「日本再興戦略2016」(閣議決定)において都市農地の確保、保育所の公園占用特例の一般化等を措置するよう位置付け



【目標・効果】

民間活力を最大限活かして、緑・オープンスペースの整備・保全を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現

(KPI) 民間活力による公園のリニューアル 約100件(2017~2021 [2017:5件 ↗ 2021:40件])

民間主体による市民緑地の整備 約 70件(2017~2021 [2017:5件 ↗ 2021:25件])

※地方公共団体等への意向把握をもとに推計

【目標・効果】

民間活力を最大限活かして、緑・オープンスペースの整備・保全を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現

(KPI) 民間活力による公園のリニューアル 約100件(2017~2021 [2017:5件 ↗ 2021:40件])

民間主体による市民緑地の整備 約 70件(2017~2021 [2017:5件 ↗ 2021:25件])

※地方公共団体等への意向把握をもとに推計

GIの類型 レインガーデン

20市



GIの類型 グリーンルーフ、街路樹、グリーンストリート、スウェール

21市



グリーンルーフ



街路樹 (樹冠遮断)



グリーンストリート



スウェール

GIの類型 その他の手法

22市



Blue Roofs市
雨水一時貯留型非緑化屋根市



Cisterns and Rain Barrels市
水槽と雨水樽市



Permeable Paving市
保水性舗装市



Subsurface Detention Systems市
地下貯留システム市

Green Infrastructure

Interconnected system of natural and built assets that emphasizes the use plants and soil to slow, filter, and infiltrate stormwater runoff close to its source and in a way that mimics natural functions and processes.



ポートランド市におけるGIの定義：植物と土壌を用い、自然の機能やプロセスを模倣し、発生源に近いところで雨水の地表面流出水を遅らせ、濾過し地中浸透させる、自然と構造物との融合システム市

ポートランドの位置と概要

24市



- 面積380km² (≒高松市)、人口61万人 (≒船橋市)
- 北緯45度 (≒札幌)
- 平均気温7.1~16.7℃、降水量942mm、降雨日数152日/年
- 海岸山脈とカスケード山脈に挟まれたウィラメットバレー北部に位置

ポートランドの市街地と周辺環境

25市



パール地区

ダウンタウン

セントラル・イーストサイド

サウス・ウォーターフロント

ポートランドの特徴

27市

- **全米一**住みたい都市にこの10年選ばれ続けている
- **全米一**の住宅価格上昇率
- **全米一**のGDP成長率と所得潜在成長率
- **全米一**の自転車通勤率、サステナブルな交通
- クリエイティブな経済開発、才能が集まり賢く成長する街
- 人々が街づくりの計画・運営に関わるしくみや地域経営主体がある
- メトロ政府が都市成長境界線(右図)を設定
- フェアでクリーンな街
- 「世界のグリーンシティ番付」 **第2位**
- グリーンインフラ普及度が世界最高水準
- 新鮮良質な食物のある街、ファストフードの無い街
- 「世界のBESTビール都市」 **第1位**、市内に59カ所の醸造所

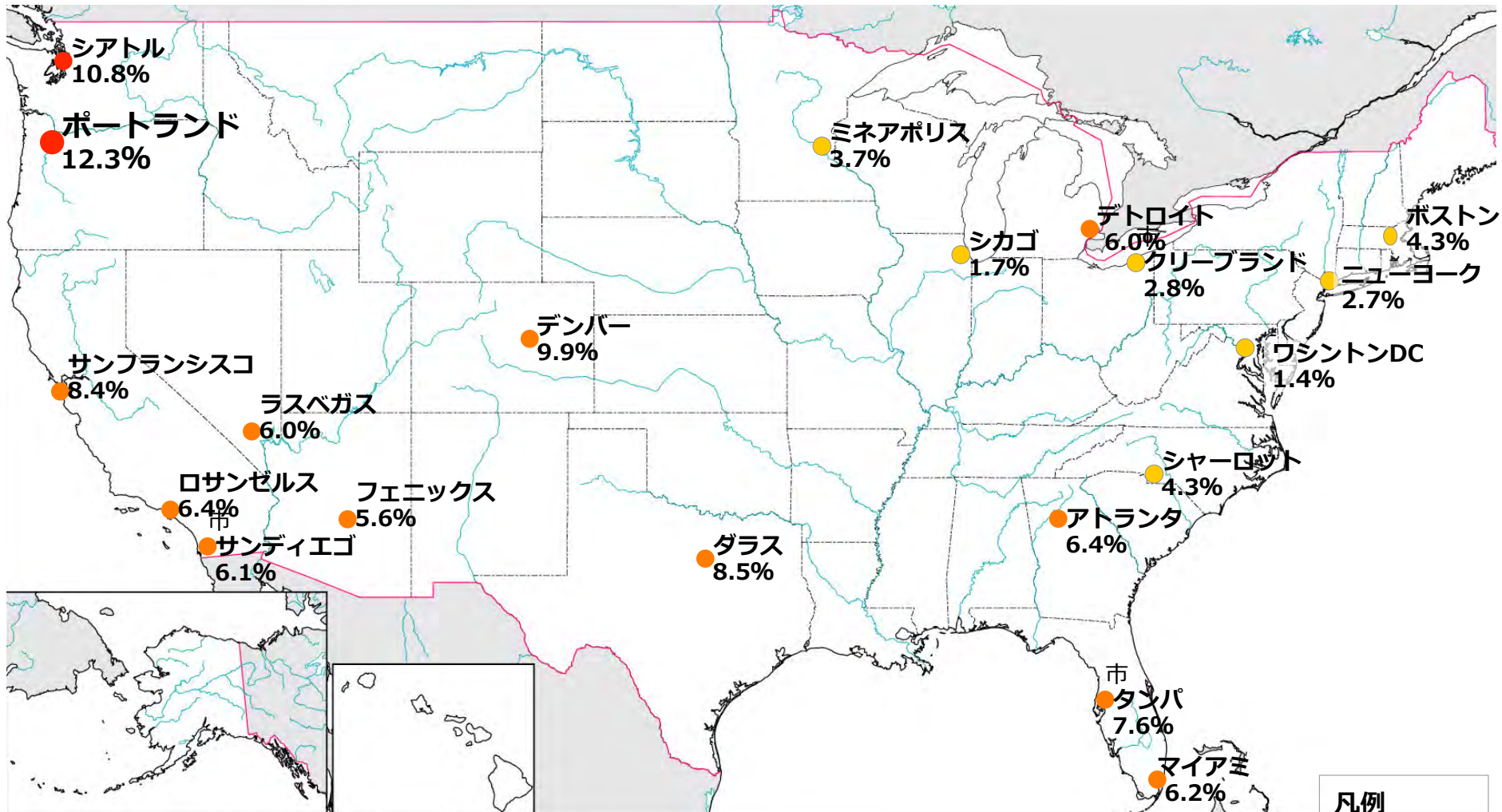
Neighborhood Association

Urban Growth Boundary



住宅価格が最も全米で最も上昇している

28市



凡例

- 10.0- %
- 5.0-9.9%
- 5.0-9.9%

S&Pケース・シラー住宅価格指数（2016年Q1時点における前年同月比）市

これからの成長都市の条件がポートランドには凝縮²⁹市

- 住みやすく多様性が許容され、時間的精神的な余裕があり、面白い人に出会える市
- 短期的利益追求型の開発でなく、時間をかけて住民を優先した街・場所を作り込み市
- 公共交通やオープンスペースの充実 心地良い人間中心の街が注意深くデザインされている市



交通



街区



人



文化



オープン
スペース

米やEUの多数の都市がGIによる都市再生を推進

30市

2012年10月の**ハリケーンサンディ**により、ニューヨーク市とニュージャージー州の海岸線が破壊され、ロウアー・マンハッタンが大規模に浸水・停電したのを受け、米国住宅都市開発省は、この惨事を繰り返さないために**Rebuild by Design**としてコンペを開催。市

コンペでは6つの入賞プロジェクトが発表。その一つが建築家ビャルケ・インゲルス率いるBIG社の提案**BIG U**である。市

BIG Uはマンハッタンの海岸線に沿って、周辺約13kmのU字型の土地を「堤防」「公園」「商店街」が複合したインフラとして提案した。下図は提案例。市



都市のサステナビリティ向上に資するGI事例（米国）

31市

防災・減災（レジリエンス）

◆グリーンインフラビジョン（米フィラデルフィア）

- オープンスペースや水系を連担させた災害に強い街づくり
- 延焼防止、洪水抑制、避難場所の確保



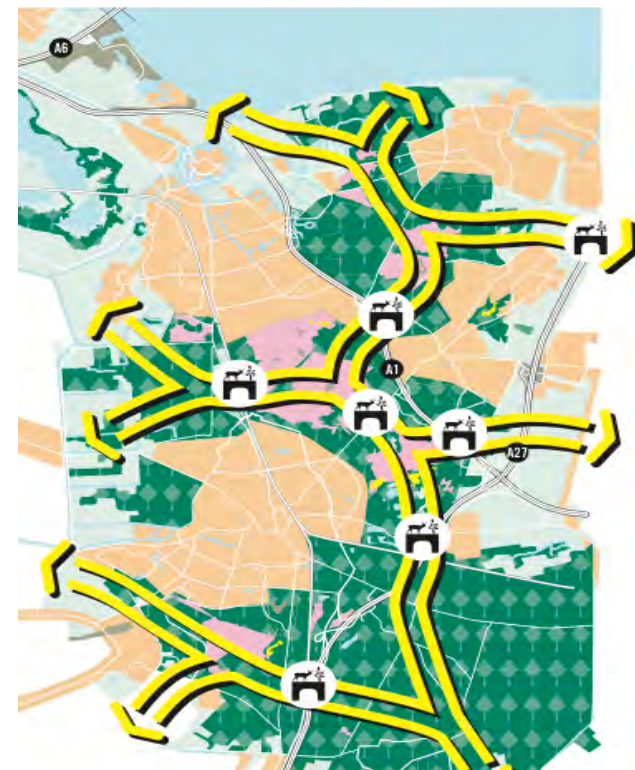
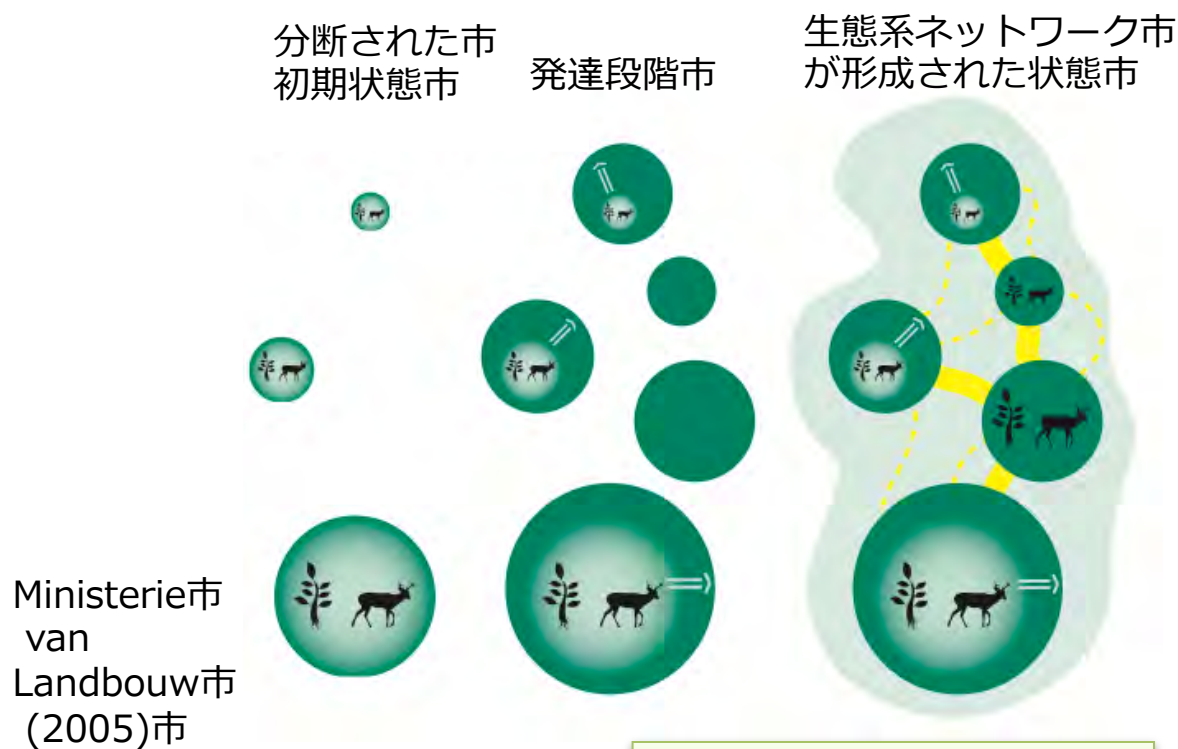
緑のネットワーク化・生物多様性の保全

◆パークシステム・エメラルドネックレス（ボストン）

「パークシステム」とは都市レベルで公園や緑地、水系をネットワークする手法。ボストンの周辺の公園、樹木園、遊水池型湿地、リバーフロント公園、海浜公園、児童公園などをパークウェイでつなげるパークシステムのことを「エメラルドネックレス」と呼ぶ。市



オランダの地方都市におけるエコロジカルネットワーク計画の例



企業保有地も活用して市
点在する断片的な緑地を有機的につなぐ市

分断化された生息地のネットワークを回復できる 市

Room for the River programme（写真はナイメーヘン市のWaal川の改修例）

- 水害リスク低減のため、氾濫原の再生と自然の河川の流れを再生させる事業を実施市
- 国内39か所で、干拓地の再生、氾濫原の復元、堤防の移動などの生態系の再生を実施市
- 生態系の再生が費用に見合わない箇所では堤防補強などのハード対策を実施市
- 河川断面の拡大により、2015年までにライン川から毎秒16,000m³の放水が可能に市



改修前 (high water)市



改修後市

JBIB(企業と生物多様性イニシアティブ)について

34市

生物多様性の保全を目指して積極的に行動する企業の集まり。市
国際的視点から生物多様性保全に関する共同研究を実施し、市
その成果を元に他の企業やステークホルダーとの対話を図ることで市
真に生物多様性保全への貢献をめざし活動。市



理事市

秦 喜秋 (三井住友海上火災保険(株) シニアアドバイザー) 市
國本 裕 (味の素(株) 代表取締役副社長) 市
田中 秀輝 (花王(株) 執行役員購買部門統括) 市
五十嵐一浩 (富士通(株) 執行役員常務)市
関谷 哲也 (株)竹中工務店 執行役員経営企画室長)市
吉田 淳一 (三菱地所(株) 常務執行役員)市
足立 直樹 (株)レスポンスアビリティ代表取締役)市

WGの構成

- ・ 持続的土地利用WG市
- ・ 自然資本研究WG市
- ・ 原材料調達WG市
- ・ いきもの共生森づくりWG市
- ・ 水と生態系WG市

本会員 30社 2017年4月1日現在

アサヒグループホールディングス / 味の素 / アスクル / イオン / 大阪ガス / 花王 /
グリーン・ワイズ / サラヤ / JXTGエネルギー / 清水建設 / 住友林業 / 積水化学工業 /
積水ハウス / 大日本印刷 / 竹中工務店 / 地域環境計画 / 帝人 / 凸版印刷 / 日本生活
協同組合連合会 / 日本電信電話 / パナソニック / 日立製作所 / 富士ゼロックス / 市
富士通 / ブリヂストン / 三井住友海上火災保険 / 三菱地所 / 三菱製紙 / 森ビル / 市
リコー / レンゴー市

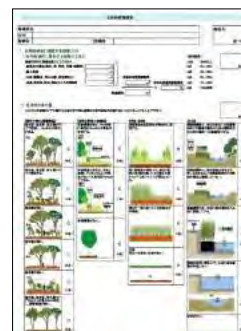
1. いきもの共生事業所®市 推進ガイドライン市

企業の用地管理担当者向けに作成された、市
生物多様性配慮型土地利用がなぜ必要か、市
どのような配慮が必要かを説明する指針市



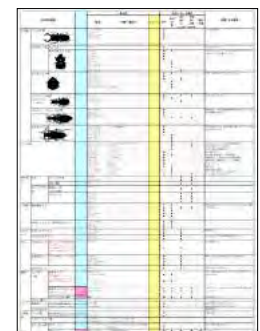
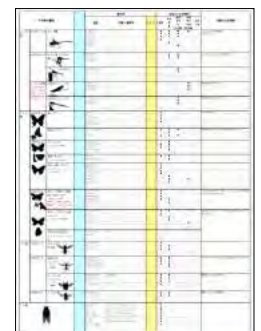
2. 土地利用通信簿®市

事業所の土地利用の生物多様性貢献
度を、緑地面積や質、管理体制などに
ついて100点満点で採点する評価シート市



3. いきもの調査シート市

企業保有地を実際にどのような生物が
利用しているのか、地域の生物多様性
にどの程度貢献しているのかを、生物
の専門知識の無い社員でも把握できる
シート市



土地利用通信簿®の評価項目と配点

36市

環境市
づくり市
(6割) 市

生物多様性
に貢献する
面積

立体的な
緑の量

まとまりあ
る緑地づくり

植生を支え
る土壌の厚み

周辺環境と
の調和

地域に根ざ
した植生の
創出

質の高い
屋上や壁面
の緑地の創出

動物の生息
環境への配慮

維持管理市
(3割) 市

化学物質使
用の適切な
管理

水循環への
配慮

物質循環へ
の配慮

指標生物の
モニタリング

外来生物に
対する対策

コミュニ
ケーション
(1割) 市

地域および
専門家との
連携

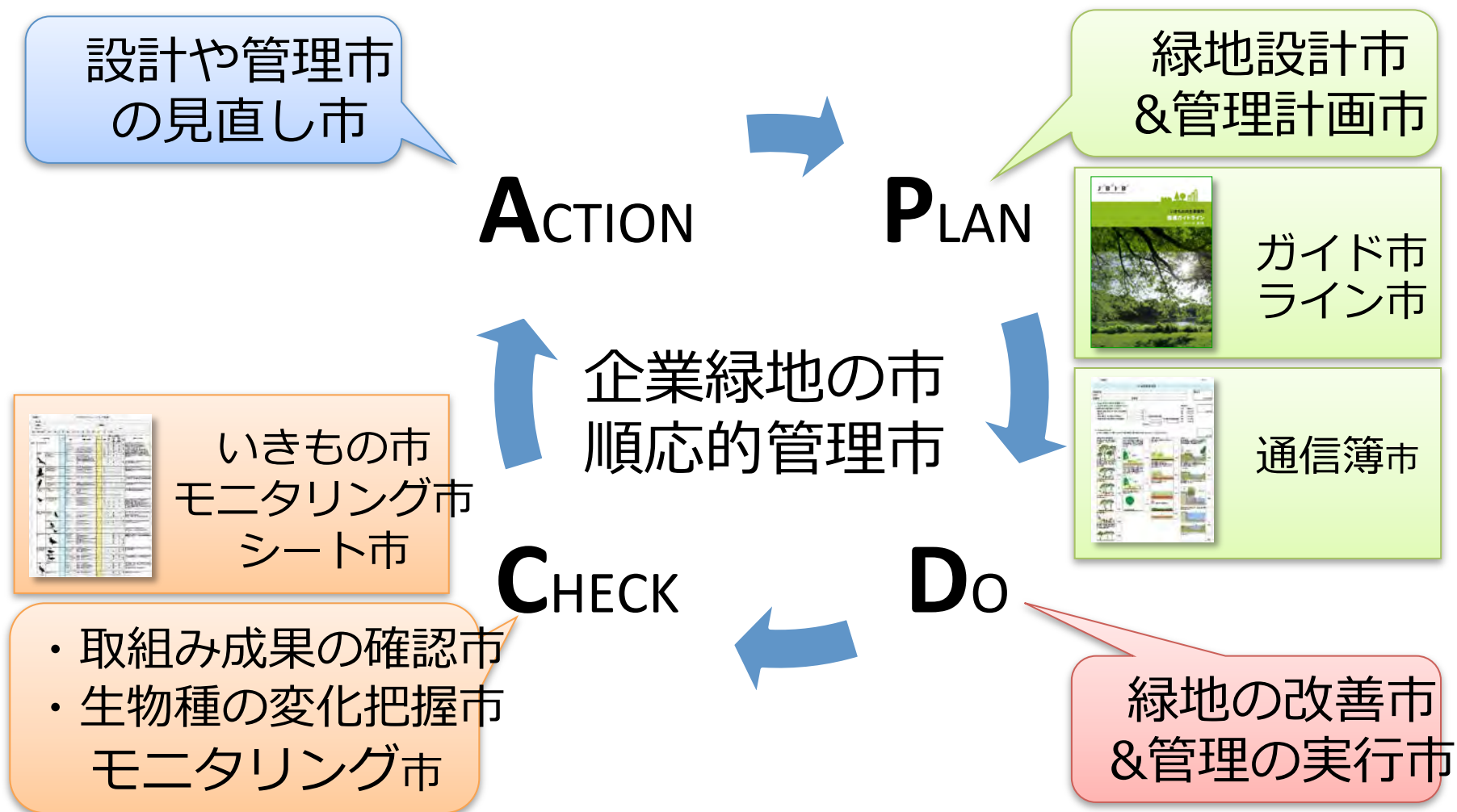
人材の育成と
配置

社員の参画

社外向け環
境教育プロ
グラムの推進

緑地の順応的管理への3点セットの活用

37市



社員が自ら行う ことに意味がある市

事業所でのトライアルを経ての開発

38市



JSR(株)千葉工場にて

- 《各事業所でのトライアルの流れ》市
1. 土地利用評価ツールの概要の説明市
 2. 事業所の状況について説明市
(事業所の緑地管理担当者より)市
 3. 通信簿で暫定採点市
 4. 緑地を回って評価項目の確認市
 5. 生き物調査市
 6. まとめ市



凸版印刷 深谷工場にて



JSR(株)千葉工場にて

- 責任ある企業が開発に参加市
- 緑地管理の知識のある企業とユーザー側企業が参加市
- 企業人と研究者（東北大学大学院*1）が協働して作成市

*1東北大学大学院生命科学研究科 中静透教授、河田雅圭教授などによる監修市

目標水準の妥当性市

着手・推進・協働市

実用性・簡便性市

科学的妥当性市

- **名称** 一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（略称**ABINC**） 市
Association for **B**usiness **I**nnovation in harmony市
with **N**ature and **C**ommunity市



- **設立** 2013年12月市

- **目的**

生物多様性条約第10 回締約国会議（COP10）において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、**生物多様性の主流化に貢献する「事業化」**を推進する。市

- **事業内容**

(0)JBIB作成の「**いきもの共生事業所推進ガイドライン**」に基づく**事業所の認証**市

(1)事業化のための課題を把握し、解決策を確立するための先進的な現場実践市

(2)事業を支持するステークホルダーを増やすための研修、講演、インターネット

による広報・普及啓発市

(3)現場実践の成果を第三者を交えて評価し、効果の大きい事例の分析市

(4)その他、当法人の目的を達成するために必要な事業市

□役員

代表理事	中静 透	東北大学大学院生命科学研究科教授)	市
理事	亀山 章	公益財団法人日本自然保護協会理事長、市 東京農工大学名誉教授)	市
理事	森本 幸裕	京都学園大学教授、京都大学名誉教授)	市
理事	黒田 大三郎	(公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー)	市
理事	足立 直樹	(一般社団法人企業と生物多様性インシアティブ事務局長)	市
理事	原口 真	一般社団法人企業と生物多様性インシアティブ顧問)	市
監事	梶谷 修	(一般社団法人日本環境アセスメント協会会長)	市

□会員 (2017.10.10現在、敬称略 五十音順、青字はJBIB会員) 市

- ・株式会社環境指標生物都株式会社グリーンフィールド市
- ・清水建設株式会社 都住友林業株式会社 市
- ・住友林業緑化株式会社 都大日本コンサルタント株式会社 市
- ・株式会社竹中工務店 都株式会社地域環境計画市
- ・東邦レオ株式会社 都株式会社日本設計市
- ・株式会社日比谷アメニス 都株式会社ポリテック・エイディディ 市
- ・三菱地所株式会社 都株式会社三菱地所設計 都

ABINC認証(第1回目)の認証物件 11件

42市

施設名称	申請者	施設住所
(仮称) 大手町1-1計画 (A棟・B棟)	三菱地所 JXホールディングス 大手町デベロップメント	東京都千代田区
大名古屋ビルディング	三菱地所	愛知県名古屋市
横浜ビジネスパーク	野村不動産	神奈川県横浜市
三井住友海上 駿河台ビル/駿河台新館	三井住友海上	東京都千代田区
東急プラザ 表参道原宿	東急不動産 アクティビア・プロパティーズ投資法人	東京都渋谷区
六本木ヒルズクロスポイント	森ビル	東京都港区
アークヒルズサウスタワー	森ビル	東京都港区
イオンモール東員	イオンモール	三重県員弁郡
大手町一丁目第3地区 第一種市街地再開発事業	三菱地所	千代田区大手町
MARK IS みなとみらい	三菱地所 三菱地所リテールマネジメント エムエムデベロップメント	神奈川県横浜市
大手町タワー	東京建物 大成建設	東京都千代田区

ABINC認証(第2回目)の認証物件 13件

43市

名 称	主用途	事 業 者	施 設 住 所
盛岡セイコー工業	工場	セイコーインスツル	岩手県岩手郡
トッパンマテリアルプロダクツ深谷工場	工場	凸版印刷	埼玉県深谷市
J X 日鉱日石エネルギー知多製造所	工場	J X 日鉱日石エネルギー	愛知県知多市
花王鹿島工場	工場	花王	茨城県神栖市
清水建設技術研究所	研究所	清水建設	東京都江東区
イオンモール多摩平の森	S C	イオンモール	東京都日野市
飯野ビルディング	事務所	飯野海運	東京都千代田区
ザ・パークハウス 千歳烏山グローリオ	集合住宅	三菱地所レジデンス セコムホームライフ	東京都世田谷区
ザ・パークハウス 西新宿タワー60	集合住宅	西新宿五丁目中央北地区 市街地再開発組合 三菱地所レジデンス 相鉄不動産 丸紅	東京都新宿区
(仮称) 福岡市中央区桜坂三丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス 西日本鉄道	福岡県福岡市
ブランドシティ品川勝島	集合住宅	東急不動産	東京都品川区
ライオンズ港北ニュータウンローレルコート	集合住宅	大京 近鉄不動産	神奈川県横浜市
プラウド国分寺	集合住宅	野村不動産	東京都国分寺市

ABINC認証の事業所の分布

44市



1. CASBEE不動産マーケット普及版

「CASBEE」（建築環境総合性能評価システム）は、建築物の環境性能で評価し格付けする手法。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムで、不動産マーケット版は環境配慮型不動産の普及を目指した派生版。



※CASBEE HPより

2. 日本政策投資銀行 DBJ グリーンビルディング認証

日本政策投資銀行が、不動産の「経済性」や「収益性」のみではなく「環境・社会への配慮」を持つGreen Buildingを所有・運営する事業者の先駆的取組を促進をめざし、金融機能を活かした評価・支援する制度。



※DBJ HPより

3. GRESB (GRESB)

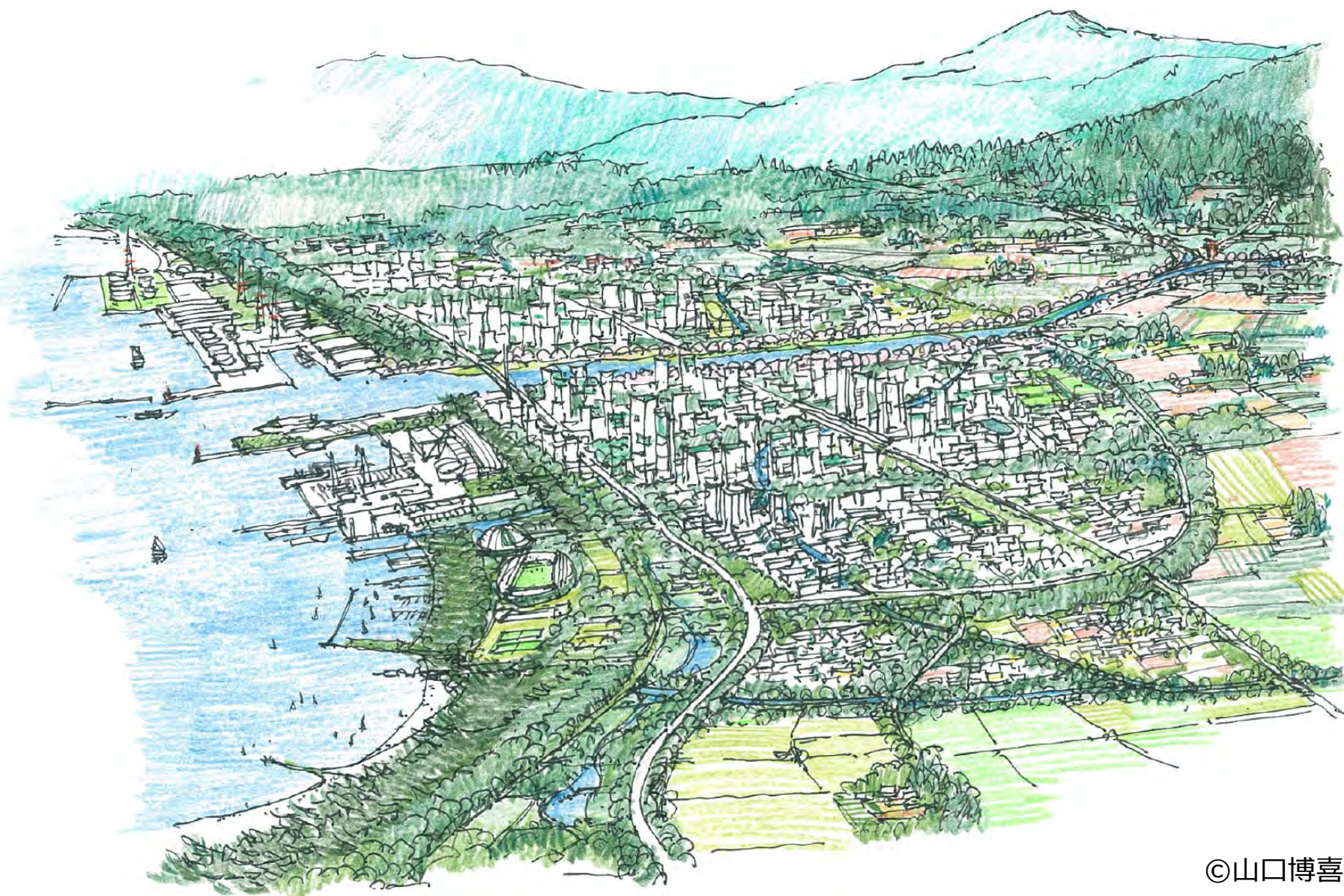
「グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク (GRESB) グレ APG、PGGMなど欧州の年金基金グループが創設した不動産会社・機関のサステナビリティ配慮を測るベンチマーク。不動産会社・運用(ポートフォリオ単位)のベンチマークとしてはGRESBが事実上唯一。2014年12月末現在、約50社の投資家メンバーや約60社の不動産会社・機関メンバーなどから構成され、我が国では、日本政策投資銀行 (DBJ) 投資家メンバー



※CSR環境投資顧問、GRESB HPより

JBIBが提案するGIを活用した自然共生都市のイメージ

46市



- 主に水害対策として始まったGIによるまちづくりは、**景観資源としての側面を強めたデザイン手法**に発展し、**建築・都市・不動産の魅力向上**に大きく貢献し始めている。市
- **ワークスタイルの変革**が都市の変革を促している。つまり、**クリエイティブな人材や企業を呼び込む**（選ばれる都市になる）ためには、良好な自然に囲まれ、安全で質の高い食事を享受でき、健康増進に適した環境配慮性の高い都市環境をつくることが有効である。市
- 公共空間と民間保有地を連担させたGI整備や**プレイスメイキング**は、都市の心地よさや賑わいを向上させる有効な手段である。市
- それを進めるために**民間活力**の活用や**公民連携**が急務である。市
- グローバルに拡大する**ESG投資**の潮流が、建築・街区・都市のサステナビリティ配慮を加速させており、それがGIの浸透と相俟って都市における生物多様性配慮の重要性も増大している。